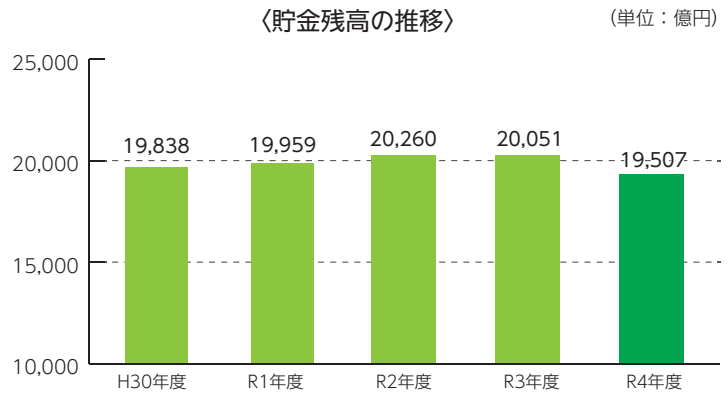


令和4年度業績の概要

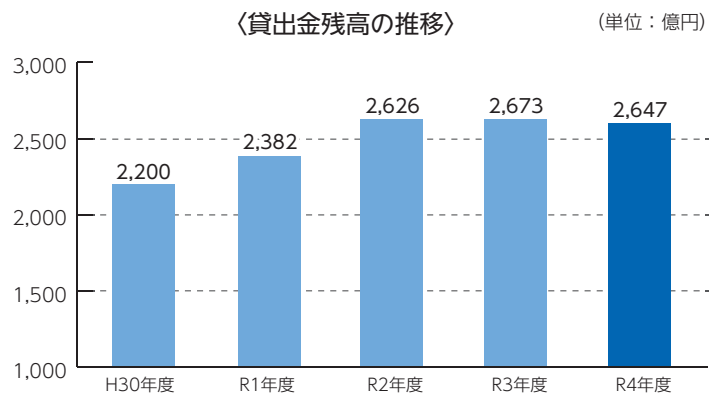
■ 貯金残高

JAの自己運用残高の増加にともない前期比544億円減少し、1兆9,507億円となりました。



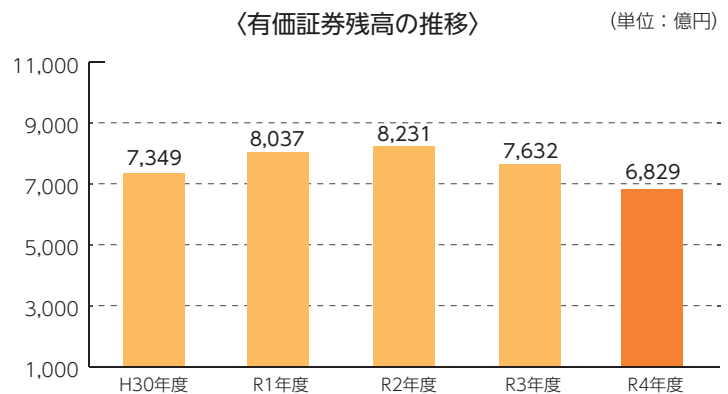
■ 貸出金残高

県内の農業・食品関連企業や県内外の一般企業等への資金提案および取引拡大に努めた一方で、金融機関に対する貸付が減少した結果、前期比25億円減少し、2,647億円となりました。



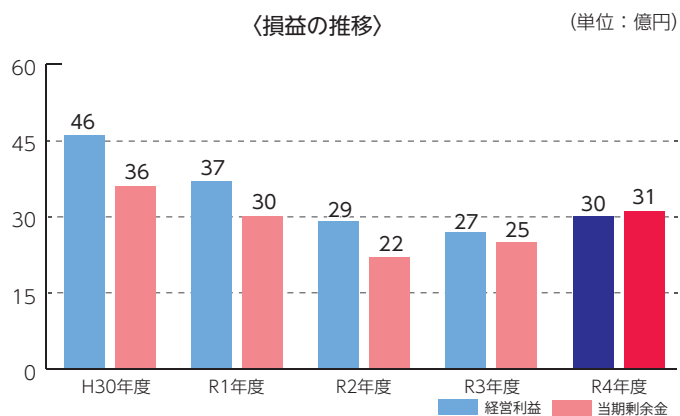
■ 有価証券残高

資金運用効率の向上と金利リスク量の削減を図るため、利回りの高い社債等への投資を行う一方、年限の長い国債の売却を行った結果、前期比803億円減少の6,829億円となりました。



■ 損益

有価証券運用利回り上昇等により、経常利益は前期比3億円増加し、30億円となりました。また、当期剰余金は前期比6億円増加し、31億円となりました。



■ 自己資本額・自己資本比率

自己資本額が前期比で増加し、1,292億円となったことに加え、運用資産残高の減少によりリスクアセットが減少した結果、自己資本比率は前期比0.25ポイント上昇の12.96%となりました。

なお、同比率は、安全基準とされる国内基準の4%、国際基準の8%を上回っており、高い安全性・健全性を維持しています。

